

夜学

いま、子どもと青年をめぐる現象を
根源から問う

モノサシがゆがんでいると、話があべこべになることがあります。
たとえば、「発達」を頑ななモノサシにすると、その子の持ち前の良さは隠れ、「弱さ」や未熟さばかりが気になります。
また、年相応の「所属」「自立」を唯一のモノサシにすると、ひきこもりなどは家族の病業に見えてきます。
あべこべです。このあべこべが、問題をあれこれ複雑にしています。
では、何が、どのようにあべこべで、どう考えたらよいのか……
そこで、2つの「夜学」を用意しました。ぜひ、お越しください。

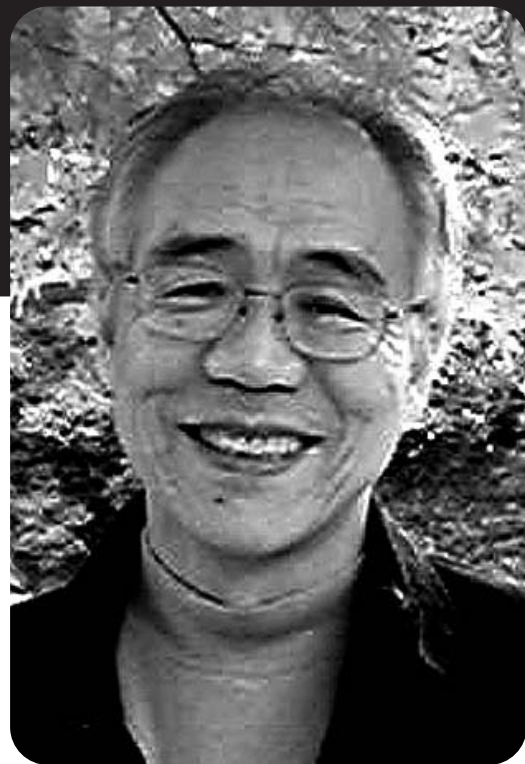
●後援：岐阜市教育委員会

ひきこもり問題 講師 芹沢俊介 氏

社会評論家

「存在論的 ひきこもり」論

●わたしは、
「私」のためにひきこもる
ひきこもりを「非」であり「否」である
とすると、わたしが「私」のためにひき
こもる営為は、「ゼロ」と見なされる。
そうだろうか。「存在論的ひきこもり」
論という肯定的な見方に立てば、その
価値ある営為がくっきり見えてくる。



●日時
2011年7月6日(水)
午後7:00～9:00

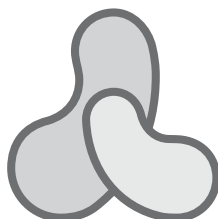
★開始は午後7時からですが、
6時から芹沢氏への「質問会」にもご参加いただけます。(同参加費内)

●会場
岐阜県民ふれあい会館
4階(401会議室)

●参加料(資料含む)
(前売り)1,000円(当日)1,500円

●お申込方法 予約制
※席数に限りがありますので、お申し込みはお早めに!
●TEL.058-240-2660
●E-mail: info@gsa-net.com
●FAX.058-247-7307
にて受け付けます。

※この2つの講演会は、「2010年度ドコモ市民活動団体への助成金」により開催するものです。



「GSA」は5月7日を以て
「SIS」に改名します。
HPとEmailアドレスは、
只今準備中です。

その人らしさを支える会

SIS

●NPO法人 シス●
〒500-8213 岐阜市日野西3丁目8-1 TEL.058-240-2660 FAX.058-247-7307
E-mail: info@gsa-net.com http://www.gsa-net.com

不登校、ひきこもりなどの人と時間を共有する
「メンタルフレンド活動」を実施中です。
メンタルフレンドの派遣を希望される方は連絡ください。
また、活動する方も募集しています。





いま、子どもと青年をめぐる現象を 根源から問う

●講師(顧問)プロフィール

芹沢俊介氏



上智大学経済学部卒業。
文芸・教育・家族など
幅広い分野の評論で活躍。
現代の家族や学校の抱える切実な課題、
子どもたちの問題を
独自の視点で捉えている。

【主な著書】
「いじめの時代の子どもたちへ」(共著、新潮社)
「ついていく父親」(新潮社)
「母という暴力」(春秋社)
「引きこもるといふ情熱」(雲母書房)
「もういちど親子になりたい」(主婦の友社)
「生きられる孤独」(共著、東京シューレ出版)
「存在論的引きこもり論」(雲母書房)

●お申し込み用紙 下記に必要事項をご記入いただき、
ファックスにて送信ください。 ⇒⇒⇒ FAX.058-247-7307

私は 7月6日(水曜日)の講座に申し込みます。

フリガナ		※ 性別		(男 ・ 女)		歳
氏名		※ 年齢				
住所		〒 □□□□-□□□□				
連絡先	電話番号	() -	F A X	() -		
	携帯番号	- -	E-mail			
※ 職業						
※ 所属団体等						
備考		※ 印以外は、必ずご記入ください。				

※不登校、ひきこもりなどの人と時間を共有する「メンタルフレンド活動」を実施中です。
メンタルフレンドの派遣を希望される方は連絡ください。
また、活動する方も募集しています。



「GSA」は5月7日を以て「SIS」に改名します。
HPとEmailアドレスは、只今準備中です。
詳細は事務局まで⇒⇒⇒



その人らしさを支える会

●NPO法人 シス● 〒500-8213 岐阜市日野西3丁目8-1
TEL.058-240-2660 FAX.058-247-7307
E-mail : info@gsa-net.com
http://www.gsa-net.com